福 岡 県 志 免 町
ネットワーク整備計画

１．必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（%）

本町の学校（小学校４校、中学校２校、計６校）が使用するネットワークは、いわゆるセンター集約型で、集約拠点側の回線としては10Gbps×２本と1Gbps×１本の計３本をルータに接続し、ロードバランスしている。回線の帯域は最も大きいもので約800Mbps（1.4を乗じると約1.1Gbps）となっているものの、アルゴリズム的にロードバランスが必ずしも1:1になるとは限らないため、国が設定している当面の推奨帯域（4,000人で2Gbps以上）は満たされていないと考えている。（０校、０%）

２．必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（１）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

令和７年１月末までに課題の特定を完了させた。

（２）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

ネットワークアセスメントの結果を踏まえ、令和７年度以降順次改善策の検討を開始し、優先順位の高いものから予算措置し改善していく。

（３）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

回線の帯域が不足していることが原因として特定されているが、現在のセンター集約型のまま推奨帯域に対応するとなると大規模で複雑なネットワーク構成となり、かつコストも高くなるため、令和７年度以降の早い段階で各学校にルータ及びインターネット回線を設置し、学校から直接インターネットに接続する、いわゆるローカルブレイクアウト構成に移行する。